

(四国地方整備局からのメッセージ)

◆◆◆四国地方整備局トピック 2014. 10. 8◆◆◆

国と地方公共団体が連携した国公有財産の最適利用について

国、地方ともに厳しい財政事情の下、庁舎等の施設の老朽化対策・耐震化等の課題に効率的・効果的に対応する必要があります。そうした中、「経済財政運営と改革の基本方針2014～デフレからの好循環拡大へ～（平成26年6月24日閣議決定）」において「地域における公的施設について、国と地方公共団体が連携し国公有財産の最適利用を図る」こととされました。

今後は、国公有財産の総括機関の財務省財務局と官庁施設整備を担当する国土交通省地方整備局等が連携して、各省庁財産管理部局及びその他関係機関をとりまとめていき、あわせて、地方公共団体とも連携して、地域における国公有財産の最適化を実現するため、官公庁施設など公的施設の有効活用や地域の様々な課題の解決に向けた取り組みを進めていくこととなります。

そのため、地方整備局等では、一定地域内の庁舎の最適な中長期の計画である「官庁施設整備構想」を策定する予定です。四国地方整備局においては、これまで四国の18の地域について、整備構想を策定してきたところですが、社会的要請等を踏まえ、既存ストックを徹底的に活用することとし、具体には施設の整備手法として庁舎の長寿命化改修を新たに加え、物理的な耐用年数を伸ばし、また、地方公共団体の施設整備状況なども加味する形で、所要の見直しを行っているところです。

ただし、より効率的・効果的な構想と仕上げていくためには、各省庁間での連携はもちろんですが、地方公共団体の皆様方との連携が不可欠です。これからの四国の活性化へも寄与するものと考えておりますので、引き続きのご支援、ご協力をお願いいたします。

また、余談となりますが、来月の11月11日は「公共建築の日」、11月は公共建築月間となっています。これは、公共建築の果たす役割を国民の皆様幅広く知っていただくこと、また、国民生活により一層密着した公共建築を考えていくことを目的に創設されたものです。これに向けた広報活動、イベント等も行っていく予定です。

四国地方整備局
営繕部長 小山貢美雄

■建設フェアの開催について

【企画部 企画課】

明後日平成26年10月10日（金）、11日（土）に高松市サンポートの高松シンボルタワー等において、『くらしと技術の建設フェア四国2014 in 高松With 土木学会100周年』が開催されます。このイベントは「建設産業及び社会資本整備への一般理解の醸成とその魅力発信」を目的として、2年に1度四国建設広報協議会主催により行うものです（前回は2012年に実施）。

今回のブース出展は前回を上回る85団体で展開します（前回は59団体）。各ブースにおいては、各社自慢の最新テクノロジーによる建設技術・防災技術の展示・実演が行われるほか、四国の3高専合同の「高専どぼじよと工作教室」やアニメ構造物を見積もることで有名な「ファンタジー営業部講演会」、瀬戸大橋・高松道・高松空港などの「工事記録上映」、徳島北高校による「手作り防災教室」、「工事用車両等展示（高所作業車乗車体験、土石流3Dシアター、降雨体験装置）」など、一般の方に建設産業の魅力を伝えるイベントを多数実施します。フェアの入場料は無料ですので、皆様ふるってご来場下さい。

また、10日はサンポートホール高松61会議室において、（公社）土木学会四国支部による「熊井隧道（高知県）の選奨土木遺産認定書授賞式」、特別講演「宇宙か
ページ(1)

いきいき四国ー10月配信版.txt
ら土砂災害を見張る！(JAXA)」及び「防災講演会」も同時開催いたします。

《HPアドレス<http://www.skr.mlit.go.jp/kikaku/shikokukensetsu/index.html>》

■「全国なぎさシンポジウム in 高知」を開催します。

【河川部 地域河川課】

平成26年11月6日(木)、高知県民文化ホールグリーンにて、「全国なぎさシンポジウム in 高知」を開催します。

全国なぎさシンポジウムは、人と海とのより良い関係を築くため、人と海の接点である「なぎさ」をテーマに意見交換を行い、その役割と大切さを再認識することを目的に、毎年開催されています。

第27回目を迎える「全国なぎさシンポジウム in 高知」では、海からの恵みを受けける一方で、自然災害の大きな脅威にもさらされている高知県において、防災、環境、利用、観光などの様々な視点から、これからの「なぎさ」の未来について考えます。皆様、是非お越し下さい！

開催日 平成26年11月6日(木) 13:00~17:00

会場 高知県民文化ホールグリーン

主催 全国なぎさシンポジウム in 高知実行委員会

行事内容

- ・開催地挨拶 高知県知事
- ・基調講演 国土交通省水管理・国土保全局海岸室長
- ・特別講演 高知工科大学 副学長 磯部 雅彦 氏
- ・パネルディスカッション
高知大学 教授 原 忠 氏
NPO 法人黒潮実感センター センター長 神田 優 氏
NPO 砂浜美術館 事務局員 西村 優美 氏
南国生活技術研究所 代表 黒笹 慈幾 氏

■松山外環状道路で園児による「お絵かきイベント」の開催！

【松山河川国道事務所 工務第二課】

松山河川国道事務所では平成26年9月11日、16日及び25日に、平成28年度の全線供用を目指して現在工事中の松山外環状道路インター線の橋梁床版上において、道路とのふれあいを通じた地域とのコミュニケーションの一環として、園児による「お絵かきイベント」を実施しました。このイベントには事業箇所周辺の3つの幼稚園や保育園の園児約400人が参加しました。園児たちは汗をかきながら、コンクリートのキャンバスに思い思いの絵を描き続け、元気いっぱい充分楽しんでもらえたと思います。

また、当日は愛媛大学防災情報研究センターのご協力により、ラジコンヘリから園児と絵の撮影も行いました。同センターのラジコンヘリはGPSを装備し、安定した飛行を行うことができるため、少しの練習で誰でも、鮮明でブレのない映像を撮ることができます。

間もなく供用する当該道路を大きなキャンバスとして、自由に絵を描いたことは、子供たちにとって楽しい思い出になったことと思います。開通時には園児の描いた絵は舗装によって見えなくなりますが、道の中で思い出とともに残り続けます。これからも地域との交流を大切にしながら、地域と地域をつなぎ、そして未来へとつながる、そんな道づくりを目標に、松山外環状道路のインター線の平成26年度の一部供用開始に向け、そして平成28年度全線供用に向け引き続き工事を推進します。

四国地方整備局HP

いきいき四国－10月配信版.txt

<http://www.skr.mlit.go.jp/>

「いきいき四国通信」に関するご意見等がありましたら、下記メールアドレスまで
お寄せ下さい。

<mailto:seibikyoku@skr.mlit.go.jp>

*****「いきいき四国通信」事務局 *****
「いきいき四国通信」の配信中止・配信先変更のご希望がありましたら、事務局
までご連絡頂きますようお願いいたします。

国土交通省 四国地方整備局 企画部
【担当】後藤（内3126）、仙波（内3176）
〒760-8554 高松市サンポート3番33号
電話(087)851-8061/FAX(087)811-8408
<mailto:seibikyoku@skr.mlit.go.jp>